

食品による子どもの窒息に注意！ ～ 球形のチーズによる死亡事故が発生 ～

内容 球形のチーズによる事故例

- ・夕食時に子どもにキャンディータイプのチーズを与えた。子どもが苦しんでいる様子に気づき、すぐに吐き出させようとしたがでて来なかった。救急車で搬送された病院に入院していたが12日後に亡くなった。（1歳 男児）
- ・子どもに球形のチーズを食べさせていたところ、急にむせ始めた。泣き声は出ていたがかすれ声で、顔色も悪くなっていたため救急車を要請した。保護者が背後から腹部突き上げ法を行ったが何も出てこず、口の中に指を入れて掻き出したところ、ドロドロのチーズの小片がいくつか出てきて、顔色も良くなった。（1歳10ヵ月 女児）

消費生活センターからのアドバイス

幼い子どもで食品による窒息が起きやすい理由として、子ども側と食品側に次のような要因があるとされています。

< 子ども側 >

- ・食べる力：噛み切れない、飲み込めない、咳で押し出せない
- ・食べる時の行動：食べながらの「おしゃべり」や「遊び」

窒息につながりにくい“食べ方”

水分を摂ってのどを潤す、一口にたくさん詰め込まない、よく噛む、食べることに集中する

< 食品側 > 窒息を起こしやすい食品

- ・丸くてつるつるとしているもの：ブドウ、ミニトマト、さくらんぼ、ピーナッツ、球形の個装チーズ、うずらの卵、ソーセージ、こんにゃく、白玉団子、あめ、ラムネ など
- ・粘着性が高く、唾液を吸収して飲み込みづらいもの：餅、ごはん、パン類
- ・固くて噛み切りにくいもの：リンゴ、生のにんじん、水菜、イカ など

球形の個装チーズなど窒息を起こしやすい食品は、無理なく食べられるよう小さく切ったりつぶしたり、加熱して形状を変えて与え、飲み込むのを確認しましょう。

窒息したと思ったら、直ちに救急要請、背部叩打等による異物除去を試みましょう。

窒息しているかもしれない“行動・症状”

のどを押さえる、口に指を入れる、声を出せない、呼吸が苦しそう、顔色が急に青白くなる

おかしいと思ったら、すぐに家族や警察、最寄りの「消費生活センター」または「消費生活相談窓口」にご相談ください。

ながさき消費生活館

困ったときは、一人で悩まずに、早めに相談を

全国共通ダイヤル 188 (イヤヤ)

市町・県の「消費生活センター」や「消費生活相談窓口」につながります

長崎県消費生活センター 095 - 824 - 0999

[相談受付] 平日(月～金) 9:00～12:00、13:00～17:00



食品による窒息に注意!

～身近な食卓に潜む意外な危険～

丸くてツルツとしている食品が こどもの窒息につながるワケ

ワケ1

食品の特徴

すべりやすい

ワケ2

こどもの能力

かみきれない
のみこめない
咳で押しだせない

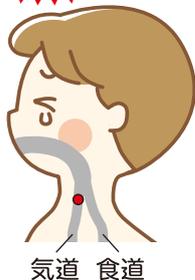
ワケ3

こどもの習性

食べながらの
「おしゃべり」や
「遊び」

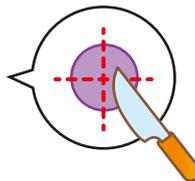
ひと手間を加えることで
こどものいのちを守れます!

危険



気道 食道

4歳以下のこどもには、
ミニトマトやブドウ
などは「1/4カット」



安全・安心



詳しい情報は
ホームページにアクセス!

小児科学会 食品窒息



日本小児科学会 こどもの生活環境改善委員会